

大切にしたい人、こと

鹿児島県言語聴覚士会
今給黎総合病院 リハビリテーション科 平原 梢香

初めまして。私は、今給黎総合病院にて言語聴覚士として勤務しております平原梢香と申します。普段は急性期の病棟で様々な診療科の患者様の言語機能や発声発語機能、摂食嚥下機能訓練に従事しております。現在は言語聴覚士歴11年目です（うち約2年は育児休暇ですが）。しかしあまだ学ぶことが多く、知りたいこともたくさんです。医療に携わる仕事は日々変化があり、常に何かを考え続けていてなくてはいけないのでそこが楽しくもあり、時々は大変だと感じることもあります。今回は、このような場で文章を書かせていただくこととなり非常に恐れ多い気持ちですが、せっかくの機会ですので楽しんで取り組んでみようと思います。

さて、何を書こうかと考えましたところ、やはり自分が今一番興味関心のある事柄が書きやすいのではないかと思い、今回は私の2人の子供の話をメインに、そして鹿児島県民なら今年は外せない西郷どんについて少し書くこととします。

なお、以下の内容は執筆当時（5月現在）のままとしてありますことをご了承ください。

私は、3歳の息子と9ヶ月の娘があり、現在育児休暇中です。7月から復職予定で、これから始まる新しい生活に期待と不安でいっぱいです。仕事をしながら子育てすることでもず心配なのは、朝の時間をうまく使えるかどうかというところです。私はとにかく朝起きるのが苦手なのですが、仕事が始まつたらそうも言っていられないのととにかく頑張るしかないのですが。これから実践していくと考えているのは21時から22時の間に就寝して、

朝の4時台に起きるということです。睡眠のサイクルでちょうどよい16時間半眠ることができれば…と期待しています。今回、この原稿を書くにあたって実際に早く寝てみましたところ4時過ぎのアラームで自然と目が覚めました。そして、まだ世間や家族が寝ている時間は静かでとても集中することができました。何か集中して行いたい時は子供が寝ている時間が最適なのですが、夜更かしをして次の日寝たい思いをするよりは、思い切って早く寝て朝に集中するのが健康的で効率的かもしれません。私は意思が弱い人間なので、早起きがどれだけ続けられるか分かりませんが、ここで私の意思を皆様に伝えたことで自分を鼓舞していきたいと思います。

このように意思の弱い私が頑張ろうと思えるのは、やはり子供の存在が大きいです。自分以外の誰かを守り育てていくということはとても責任があり、またやりがいのあることです。

そんな私の2人の子供を紹介します。まずは3歳の息子です。伸び伸びとたくましく、朗らかに育って欲しいと願い「伸太郎」と名付けました。今のところは名前の通り、おおらかに伸び伸びと成長しています。男の子らしく、戦隊ヒーローや乗り物、戦いごっこが大好きです。おもちゃの武器を装備しては、おじいちゃんや夫にいつも戦いを挑んでいます。私は女姉妹で育ってきたため、男の子の遊びや興味のあるものを知りませんでした。しかし、息子のおかげで日曜日の朝は戦隊ヒーローの番組を観るようになり、また車や電車、新幹線の名前などさまざまな新しいことを知

ることができました。自分の知らなかった世界が広がっていき、それを息子と共有できることがとても楽しいです。これが子育ての楽しみの一つなんだろうなと実感しています。

しかし最近は3歳を過ぎたこともあり、かわいいだけでは済まないことも増えてきました。「僕がするー！僕がしたい！」と言っては、彼なりの知恵を最大に使ってあらゆる手伝い（いたずら？）をしてくれます。水道の水を大量に出しっ放しにしたり、踏み台を持ってきて、高いところにあるあまり触ってほしくないもの（油性ペンやハサミなど）を取ろうとしたり…。静かにしているなと思うと常にやら楽しそうなことをしています。私はそんな時、その行為を叱るべきかどうか悩んでしまいます。大人がやって欲しくないことでも、子供にとっては初めての経験でそこから学ぶこともあるのだと思うと、何でも制止してしまうのも…と考えてしまいます。危険なことはきちんと教えてあげるべきですが、子供の心を大事にした言い方をして、様々な体験からたくさんのこととを吸収してもらいたいです。とは思っていても、ついイラッとしてしまうこともあります。しかし甘えん坊の彼から「ママ、大好き！！」「ママ、抱っこして！」なんてかわいい顔で言われてしまうと、嫌なことは全部吹き飛んでしまいます。

また、この頃は言葉の意味や世の中のことについてたくさん疑問があり、毎日質問責めです。「ママ、『カノウセイ』ってなに？」、「『マホウ』って何？」など返答が難しい質問をたくさんされます。言葉はテレビやラジオから拾って学んでいるようで、今聞いた言葉をすぐ復唱して尋ねてきます。おかげでとっても口が達者になりました。

次に、去年の7月に産まれた長女の話を。名前は「夏帆」です。夏生まれなので「夏」の漢字を入れようと決めており、船の帆のよ

うにさわやかに風を受けて前進するような人生を送ってほしいと思いこの名前にしました。

9ヶ月になった現在は、つかまり立ちの楽しさを覚え、ほぼ1日中つかまり立ちをして過ごしています。座卓の周りをぐるぐると周り、興味のあるものを掴んだり口に入れたり、とても楽しそうです。また、この子はとにかく食べるのが大好きです。離乳食を始めた頃から現在まで、与えるものは全ておいしそうに食べてくれます。まだ欲しいときには「あー、あー！」と声を上げて催促するほどです。最近はイチゴがおいしい季節なので、イチゴをよく食べさせていたら好物になりました。ケーキ屋さんに一緒に行った際、ガラスケースの中のイチゴのケーキを見てニコニコしていました。おかげさまで身体の方も順調に成長しており、小児科の先生には「肥満じゃないけど大柄だね。」とお褒めの言葉？をいただきました。もうすぐ保育園へ通うこととなり離れる時間が増えててしまうのが淋しいですが、保育園で先生方や友達と過ごすことで彼女の世界はますます楽しく大きく広がっていくことと思います。

今のところはとても健康なので、このまま元気にすくすくと育ってほしいです。そして、やんちゃなお兄ちゃんに揉まれながらお兄ちゃんに負けないくらいにたくましく、でも可愛らしく…と願います。大きくなったら一緒にランチや買い物に行けるかなとワクワクしています。

最後に、「西郷どん」についてです。私にとっては「せごどん」という呼び方より「さいごうさん」の方がしっくり来るのですが、今年は「せごどん」と呼ぶのが良さそうです。大河ドラマはもちろん欠かさず観ています。リアルタイムではなかなかゆっくり観られないで録画をしています。

今回のドラマの面白さは、内容はもちろん



のこと、鹿児島の人にとっては自分たちに馴染みのある場所や人が登場し、過去と現在がリンクしやすいことにあると思います。私の職場の近くには鶴丸城跡や、南洲墓地、西郷隆盛終焉の地など歴史に関係深い場所が多くあります。また私の卒業した高校の裏手には福昌寺跡という場所があり、そこには島津斉彬や久光、多くの藩主の墓がありました。さらに、私が普段車で通っている「水上坂」という場所があるのですが、そこは参勤交代に向かう列がここで休憩を取り、桜島を振り向きながら過ぎ行く薩摩の風景を名残惜しんだ場所だったそうです。現在でも妙円寺詣りのコースとなっています。道幅はとても狭く、譲り合いながらゆっくりと通らなくてはならないような古い道路で不便さを感じることもあるのですが、歴史の意味の大きさを考えると感慨深い気持ちになります。ドラマの中でも「水上坂」の地名が登場しており、とても嬉しく感じました。

今まで鹿児島の史跡を巡ったり、熊本へ行った際には田原坂の資料館を訪れたこともありますが、今回ドラマで取り上げられて内

容に関係していることで改めてその存在の大きさを感じています。また先日は、鹿児島市内の街歩きのイベントに参加し、歴史ガイドの方から興味深いお話を聞くことができ、ますます興味が湧きました。ミーハーではありますが、これを機に2人の子供と共に鹿児島の歴史をさらに学んで行きたいです。そして子供達にも「鹿児島で生まれ育って良かった」と感じてもらえたなら嬉しいです。

こんなに長い文章を書くのは久しぶりで何を書こうか、どう書こうかと数ヶ月悩み続けておりましたがようやく書き上げることができました。そして、この文章を書くことで復職に向けて気持ちが切り替えられたように感じます。これからは生活リズムを整えたり、空っぽになっている頭に刺激を入れるために研修や学会へ参加しようと考えてあります。子育て中で制約の多い環境ではありますがこれからも自己研鑽し、仕事を前向きに続けていけたらと思います。